

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

時間に関する内的表象と空間情報処理の相互作用に関する実験心理学的・精神医学的研究 第二期

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 精神診療部 野田隆政

【本研究の目的及び意義】

この研究は、うつ病の方を対象として、日常生活における時間感覚の特徴を見出し、それがどのように行動に関わるかを明らかにすることを目的として行われるものです。この研究結果をもとに、治療の現場で抑うつ程度を客観的に評価できる可能性のある、治療効果の検証に役立つ方法を探ります。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方(30歳～59歳までの方を対象としています)

●うつ病患者

2022年2月18日より2027年3月31日までの間に、精神科でうつ病の診断を受けた方

●健康な方

30歳～59歳までの方で、右利きの方

利用する試料・情報等

基本情報:年齢、性別、診断名、心理検査、実験等の結果等

コンピュータによるマウスを使用した時間感覚の検査とアンケート形式の抑うつ状態の評価を行います。

合計で1～2時間ほどかかります。

研究期間

2022年2月18日より2027年3月31日まで

【共同研究機関】

東京都立大学 石原 正規 ・ 人文科学研究科人間科学専攻心理学分野

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 病院

所属 精神診療部 氏名 野田隆政

電話番号 042-341-2711(代)

e-mail:t-noda※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)